



環境放射能除染学会 第16回講演会

主 旨：

放射性セシウムを含む土壌が中間貯蔵施設に貯蔵され、その減容化が求められる現時点で、最も良い手法が何であるかを評価し、或いは改良を考えるのは必要なことと思われます。関連する2題の講演を行います。

また、日韓関係の課題もあり、放射線の影響と防護に関する最新の動向を韓国などの海外の状況を含め考えることも必要かと思えます。保健物理学会会長の甲斐先生より関連した話題をお話しいただくようにしました。是非ご参加ください。

- 主 催：一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会
(通称：環境放射能除染学会)
- 日 時：2020年1月27日(月) 14時30分～18時30分
- 場 所：ニュー新ホール(ニュー新橋ビル地下2階 新橋駅前)
会場へは1階よりエレベーターでお越しください。
- 定 員：50名(会員および先着申込優先)
なお、当日13:30～14:00の総会の出席者を優先させていただきます。
- 参 加 費：会員3,000円 非会員12,000円
- お 申 込：学会ホームページよりお申込ください。
- 問 合 せ 先：環境放射能除染学会 東京事務所までメールにてお問い合わせ下さい。

お問い合わせアドレス：info@kh.josen.org

汚染土壌対策と環境放射能の影響と防護に関する最新動向

講演1. 14:30 ～ 15:45 高性能セシウム吸着剤の物性と吸着特性	東北大学 名誉教授 ユニオン昭和株式会社最高技術顧問 三村 均
講演2. 15:45 ～ 17:00 分級分離による土壌中放射性セシウムの実用効果	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 松田和久・今井啓祐
休憩 17:00～17:15	
講演3. 17:15～18:30 放射線の影響と防護に関する最新の動向	保健物理学会会長 大分看護大学 教授 甲斐 倫明

※都合によりプログラムが変更になる場合があります。また、タイトルは一部仮題です。